

令和3年6月1日

一般社団法人城岳同窓会

会 員 各 位

一般社団法人城岳同窓会

会 長 宮里 博史

県立二中・那覇高等学校創立百十周年記念誌 寄附者御芳名欄への誤記載について（お詫び）

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より城岳同窓会の活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。

沖縄県でも緊急事態宣言が発出され、何かと閉塞感が強くなっております。

さて、県立二中・那覇高等学校は令和2年10月に創立百十周年を迎え、更なる発展を目指して学校、PTA、同窓会三者で記念事業実行委員会を設置して諸事業に取り組んでまいりました。

ところが予期せぬ新型コロナウイルス感染症の発生で事業の中止、縮小、延期などを余儀なくされましたが、収入につきましては首里城の炎上、新型コロナ禍の厳しい経済環境の中ではありましたが寄附金を含め19百万円余を集めることが出来ました。これもひとえに同窓生の母校愛の賜物と感謝しております。学校への教育機材贈呈、記念誌の発刊も終わり、5月26日には「県立二中・那覇高等学校創立百十周年記念事業実行委員会解散総会」を行いました。また、5月29日には「社員総会」を书面開催いたしました。

こうした中で、創立百十周年記念誌寄附者御芳名欄で貴殿の御芳名の誤記載がありましたことに深くお詫び申し上げます。

誤記載の状況と今後の対策

1. 卒業期ごとの名簿を作成するためカタカナ記載は出来るだけ同窓会名簿から調べて漢字変換する転記作業を行いました。その中で誤記載が発生しました。
2. ATM等による振り込みは多数ありました。カタカナ表記及び卒業期未記載のため同窓会名簿、百周年寄附者名簿と他の実行委員会等漢字表記、卒業期の確認を行いました。
3. 二重チェックしていれば防げたはずですが、不手際がありお詫び申し上げます。
4. カタカナ名の多数の方はまだ漢字名の判明はできておりません。漢字表記に向けて新型コロナウイルス感染が落ち着き次第再確認致します。
5. この3件の誤記載につきましては、同窓会ホームページに御芳名の訂正とお詫びを、6月上旬に掲載する総会情報に掲載いたします。また、9月発行予定の広報誌「城岳同窓会」へも掲載いたします。
6. 今後この様な誤記載が再発しないよう細心の注意を払うこと、ダブルチェック体制を整える事、また、今後「ATM」振込する場合、氏名の後に卒業期を打ち込むこと」を案内文で説明いたします。
7. 寄附者ご芳名録に氏名記載の可否を確認します。
8. 「寄附金振込依頼書」は県内（琉銀、沖銀）、県外（ゆうちょ銀）を作成します。
9. 今回の御芳名誤記載につきましては重々お詫び申し上げます。